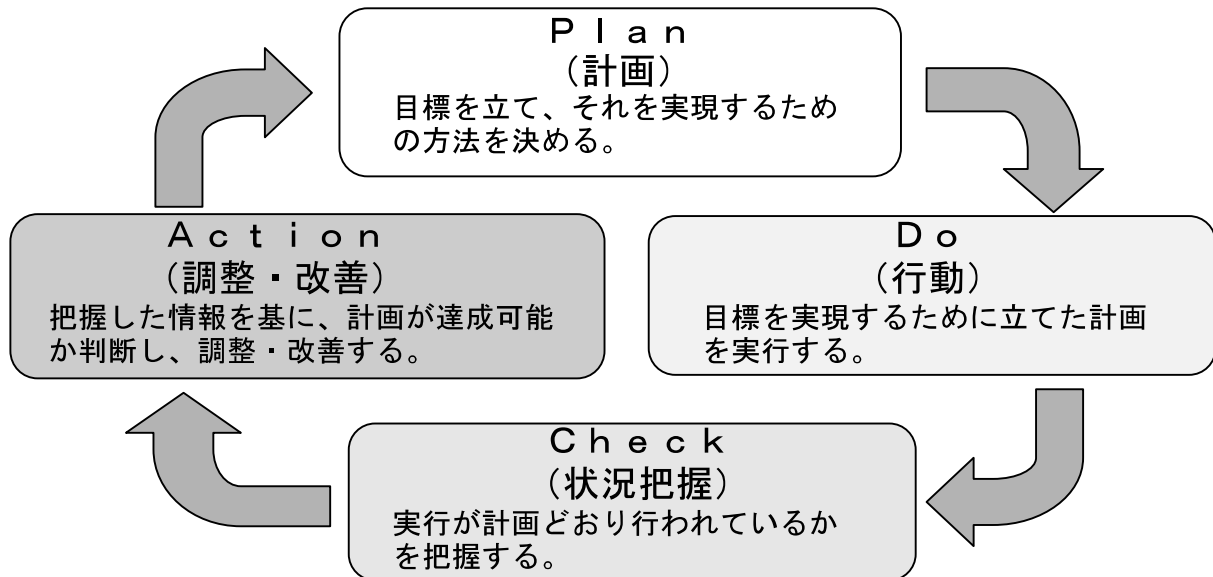


第4編 計画の推進に向けて

1. PDCAサイクルによる計画の推進

本計画の推進にあたっては、町民の理解と協力が不可欠です。また、計画の進行管理や達成度の検証を行うことが必要です。

そのため、副町長を委員長とする「高鍋町事務事業評価委員会」及び民間の有識者等からなる「高鍋町外部評価委員会」を中心に、毎年度の進捗状況や費用対効果の検証を行うなど、「計画（Plan）」「実行（Do）」「評価（Check）」「見直し（Action）」という一連の流れ（PDCAサイクル）を繰り返しながら、計画の着実な推進を図っていきます。



2. 計画の見直し

PDCAサイクルにより評価を行う以上、計画の見直しは必要不可欠です。計画の定期的見直しのほか、町民提案などにより計画を見直すことができる仕組みをつくります。

なお、見直しは次のようなケースに行います。

(1) 実施計画に合わせた見直し

毎年度の事務事業評価の結果に基づき実施計画を見直す必要が生じた場合。

(2) 町民提案による見直し

町民や行政が計画進行の過程で、その内容と現状に差異を感じた場合、または、新しい施策や事業を行うために計画変更の必要が生じた場合。

(3) マニフェストによる見直し

町長が選挙において掲げた公約（マニフェスト）の内容により、計画の内容を変更する必要が生じた場合。

(4) 法令改正等による見直し

法令や条例等の制定・改正に伴い、計画を変更する必要が生じた場合。

